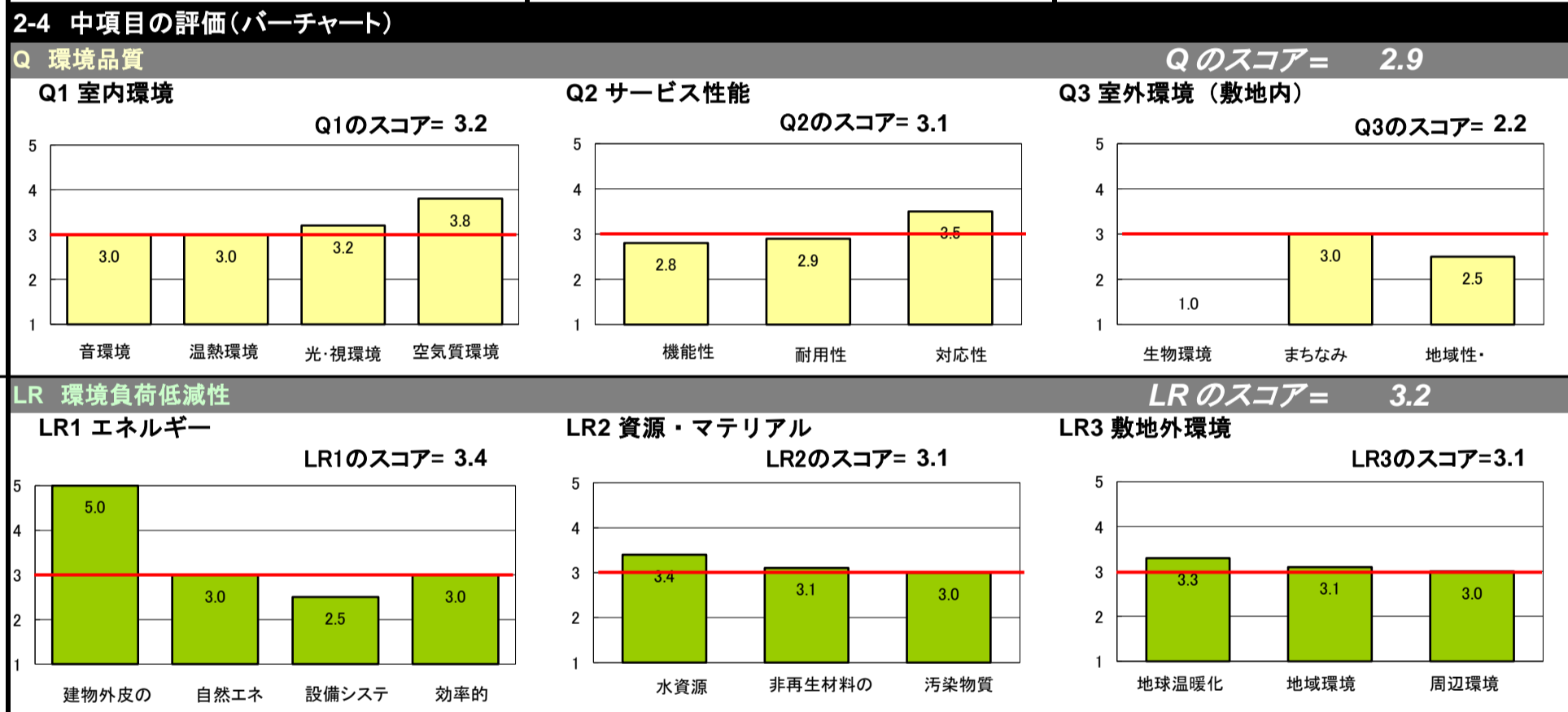
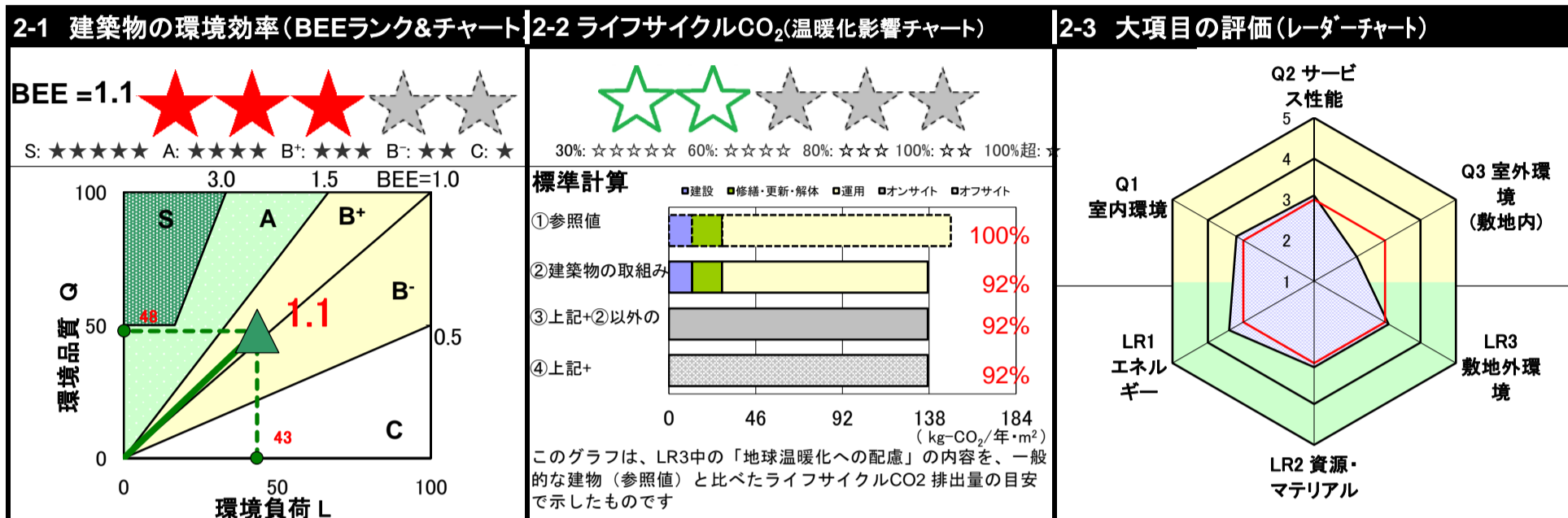


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人ゆめネット 特別養護老人ホーム 鎌倉街道 東山	階数	地下0階地上4階
建設地	愛知県安城市里町寺斗山249番	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	120人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年9月13日
敷地面積	8,311 m <sup>2</sup>	作成者	服部政史
建築面積	1,425 m <sup>2</sup>	確認日	2022年9月13日
延床面積	5,217 m <sup>2</sup>	確認者	服部政史



3 重点項目					
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.3</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>3.6 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	3.6 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	3.6 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.2</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体								
配慮項目	重点項目			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数										
<b>Q 建築物の環境品質</b>															<b>2.9</b>							
<b>Q1 室内環境</b>															<b>3.2</b>							
<b>1 音環境</b>															<b>3.0</b>							
1.1 室内騒音レベル															3.0	3.0	0.40	3.0	3.0	1.00		
1.2 遮音															0.4	3.0	0.40		3.0	0.40		
1 開口部遮音性能																3.0	0.40		3.0	0.30		
2 界壁遮音性能																3.0	0.60		3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																3.0	-		3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																3.0	-		3.0	0.20		
1.3 吸音																3.0	0.20		3.0	0.20		
<b>2 温熱環境</b>															<b>3.0</b>							
2.1 室温制御															0.3	3.0	0.35	3.0	3.0	1.00		
1 室温															0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50		
2 外皮性能															3.0	3.0	0.38		3.0	0.57		
3 ゾーン別制御性															3.0	3.0	0.25		3.0	0.43		
2.2 湿度制御															3.0	3.0	0.38		-	-		
2.3 空調方式															3.0	3.0	0.20		3.0	0.20		
3.0															3.0	3.0	0.30		3.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>															<b>3.2</b>							
3.1 昼光利用															0.2	3.1	0.25	3.3	3.3	1.00		
1 昼光率															0.3	3.6	0.30	4.2	4.2	0.30		
2 方位別開口															3.0	4.0	0.60		5.0	0.60		
3 昼光利用設備															3.0	3.0	0.40		3.0	0.40		
3.2 グレア対策															0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30		
1 昼光制御															5.0	3.0	1.00		3.0	1.00		
3.3 照度															3.0	3.0	0.15		3.0	0.15		
3.4 照明制御															3.0	3.0	0.25		3.0	0.25		
<b>4 空気質環境</b>															<b>3.8</b>							
4.1 発生源対策															0.2	3.9	0.25	3.6	3.6	1.00		
1 化学汚染物質															0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63		
4.2 換気															3.0	4.0	1.00		4.0	1.00		
1 換気量															0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.38		
2 自然換気性能															3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮															3.0	3.0	-		3.0	0.33		
4.3 運用管理															3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
1 CO <sub>2</sub> の監視															0.2	5.0	0.20		-	-		
2 喫煙の制御															3.0	3.0	-		-	-		
建物全体が禁煙															3.0	5.0	1.00		-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>															<b>3.1</b>							
<b>1 機能性</b>															<b>2.8</b>							
1.1 機能性・使いやすさ															0.4	2.4	0.40	4.0	4.0	1.00		
1 広さ・収納性															0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60		
2 高度情報通信設備対応															3.0	-	-		5.0	1.00		
3 バリアフリー計画															3.0	3.0	-		3.0	-		
1.2 心理性・快適性															0.3	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40		
1 広さ感・景観(天井高)															3.0	3.0	-		4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース															3.0	3.0	-		-	-		
3 内装計画															3.0	1.0	1.00		1.0	0.50		
1.3 維持管理															0.3	3.0	0.30		-	-		
1 維持管理に配慮した設計															3.0	3.0	0.50		-	-		
2 維持管理用機能の確保																3.0	0.50		-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>															<b>2.9</b>							
2.1 耐震・免震・制震・制振															0.3	2.9	0.31		-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)															0.4	3.0	0.48		-	-		
2 免震・制震・制振性能															3.0	3.0	0.80		-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数															0.3	3.1	0.33		-	-		
1 躯体材料の耐用年数																3.0	0.23		-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																2.0	0.23		-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																5.0	0.09		-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																3.0	0.08		-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																4.0	0.15		-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔																3.0	0.23		-	-		
2.4 信頼性															0.1	2.8	0.19		-	-		
1 空調・換気設備															3.0	3.0	0.20		-	-		
2 給排水・衛生設備															3.0	2.0	0.20		-	-		
3 電気設備															3.0	3.0	0.20		-	-		
4 機械・配管支持方法															3.0	3.0	0.20		-	-		
5 通信・情報設備															3.0	3.0	0.20		-	-		

3 対応性・更新性				0.2	3.8	0.29	2.9	2.9	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり				0.3	4.6	0.31	2.8	2.8	0.50	
1	階高のゆとり				5.0	0.60		4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	4.0	0.40		1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	4.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38				
1	空調配管の更新性	②			3.0	0.17				
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17				
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11				
4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11				
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22				
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30				2.2
1 生物環境の保全と創出			独自③		1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性										3.2
LR1 エネルギー						0.40				3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.75	3.0	5.0	0.30			5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.20			3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.9	3.0	2.5	0.30			2.5
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00			
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50			
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50			
集合住宅の評価										
4.1 モニタリング						3.0				
4.2 運用管理体制						3.0				
LR2 資源・マテリアル							0.30			3.1
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15			3.4
1.1 節水					3.0	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67			
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.1	0.63			3.1
2.1 材料使用量の削減						2.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②			3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自			3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材						3.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自			3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68			
1 消火剤										
2 発泡剤(断熱材等)						3.0	0.50			
3 冷媒					3.0	3.0	0.50			
LR3 敷地外環境							0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮			①			3.3	0.33			3.3
2 地域環境への配慮					0.3	3.1	0.33			3.1
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善						3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減			独自			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25			
3 交通負荷抑制			独自			5.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制						3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮					0.3	3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40			
1 騒音			独自			3.0	1.00			
2 振動			独自							
3 悪臭										
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40			
1 風害の抑制						3.0	0.70			
2 砂塵の抑制						3.0				
3 日照障害の抑制						3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30			

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

社会福祉法人ゆめネット 特別養護老人ホーム 鎌倉街道 東山

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.3</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.2</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.8	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:3.6%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<p>周りは田園地帯で環境も良く、尚且つ近くにはバイパスが通っており、アクセスも便利である。</p> <p>敷地内には十分な駐車場駐輪場を有し、建物は敷地が広く、周囲からの見通しも良い上、すっきりした外観である。</p> <p>建物には2ヶ所の中庭を設け、採光通風を考え、利用者の快適性を上げている。</p>
Q1 室内環境	<p>採光性が高く、内装材に化学物質に対してもF☆☆☆☆をほぼ全面に使用している。</p>
Q2 サービス性能	<p>居室面積・高さについては十分とり 内装仕上げ材、空調、給排水管の更新必要間隔にも配慮している。</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>全ての出入口に防犯カメラを設置し、防犯性に配慮している。</p>
LR1 エネルギー	<p>BPI=0.73、BEI=0.89である。</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>節水の為、節水コマ、節水型機器を使用している。</p>
LR3 敷地外環境	<p>適切な量の駐輪場、駐車場を確保している。導入路は交差点を避け西と東の2カ所に設け周辺道路への渋滞緩和に値する。</p>
その他	<p>特になし</p>